ユニオンネットワーク 第35回総会

10月10日（木）18時30分より、おおさかユニオンネットワーク第３５回定期総会がエルおおさか南館702号にて、およそ70名参加で開催されました。

第１部では、西山代表、七堂弁護士から情勢を中心とした挨拶があり、南副代表から議案提案、寺尾事務局長から会計報告、予算案提案がされ、また、運営要綱改正、新役員体制においても全会一致で承認されました。

第２部では、各労組より計13件の争議報告がありました。全港湾大阪支部からは、大和運輸分会の労働委員会の内容について当該組合員から報告を受けました。また、梅南鋼材分会からは、まさに当日最高裁判決により会社の上告が棄却された報告を受けました。長年の団交拒否を中心とした不当労働行為が確定した形となり、今後は会社に対し不当性を追求し労働環境改善を進めていかなくてはなりません。大阪メトロ分会、大阪シティバス分会について当該組合員が仕事のため参加出来なかったため、吉本副委員長から報告を受けました。結成当初から権利獲得に向けた交渉を続けていますが、大きな進展がなく、今後おおさかユニオンネットワークによる抗議行動の提起がされました。

他労組の報告のほとんどがパワハラや雇い止めによる事案で、当該組合員から悲痛な思いを胸の内の報告を受け、参加者全体で共有されました。会社から個人攻撃はもちろんのこと、組合潰しを目的とした事業閉鎖を目論むなど、権力弾圧が横行しているのが見て取れます。

それら多くの報告を受け、２０２４年秋の総行動第１弾として11月11日（介護の日）は、介護現場での抗議申し入れ行動を行うとし、第２弾として11月25日はそれ以外の現場へ抗議申し入れ行動が予定されています。

最後に西山代表より挨拶がされ、おおさかユニオンネットワークは広範且つ強固な組織として、活発な労働運動を展開すると力強い言葉と共に団結がんばろうで締めくくりました。

（副委員長　横山 貴安基）

2024・25年度 執行部体制 大阪支部

委員長　小林勝彦（大阪機船）
副委員長　陣内恒治（三星海運）
〃　吉本賢一（大正埠頭）
〃　横山貴安基（スミサク）
書記長　吉馴真一（サンユー）
書記次長　関谷和人（此花荷役）
〃　佐々原智彦（大商）
執行委員　和泉　清（阪南港運）
〃　南野一樹（大阪サンエー）
〃　宮脇祥三（太陽陸運）
〃　岡田　大（サンユー）
〃　田村吉雄（大阪港埠頭）
〃　大西浩治（みなと）
〃　森　矢一（大和運輸）
会計監査　貫和　誠（オーエスティ）
〃　豊岡　崇（第一商事）

第29回統一マダンに参加して

第29回統一マダンに全港湾大阪支部の青年部としてに参加させていただきました。

「統一マダン」とは、韓国の文化を学べ、朝鮮半島の統一の思いを共有するイベントです。

今回も旧御幸の森小学校で開催され、生野区は多くの韓国コミュニティが集まる地域で、ここでのイベントは地元住民や他の労組の方々などにとって文化交流の場になっています。

青年部は出店でフランクフルトとキャラクターすくいをやりましましたが、今年は残暑が厳しいこともあって、メチャクチャ暑くて、日焼けを通りこして火傷するぐらい暑かったです(笑)。

今回はいつも以上に活気があって、会場には、韓国料理の屋台や焼きそばの香ばしい匂いがして、ビールやマッコリなどのお酒も売っており、キンパとビール、焼きそばとビールの組み合わせは最高でした。

大阪支部青年部出店のフランクフルトとキャラクターすくいも結構人気があり忙しかったです。

舞台では、K-POPのダンス、民族楽器の演奏、ミニライブなどたくさんの舞台演目で盛り上がっていました。

最後には参加者が手を繋ぎながら統一への思いを共有して終わりました。

多くの人が集まる事で、イベントが盛り上がり、地域の活性化になっています。また、文化の多様性を尊重する事ができ、地域住民との間における相互理解が深まります。

このような文化交流は地域の社会的な結束を強化し、住民や参加者が互いに協力し支え合う関係を築く事ができます。

私が今回参加させていただき思った事は、統一マダンは韓国文化を体験するだけでなく、地域社会を活性化する多文化共生の重要なイベントだと思いました。

文化への理解を深め、地域の方がたや他の労組の方がたと協力し、支え合っていき、今後の組合活動に役立てるように頑張っていきたいと思います。

(埠頭ターミナル分会　船津 泰和)